

2024 / 通巻415号 (Vol.59-2



Contents

ードから、
 の詳細を ことが
1

著者からのメッセージ	
合作かつい入しに一ノ	

教科書の構成

内容の特色

現代的な課題に向き合う

小・中の系統性を図って ------11

info 学びを広げる QR コンテンツ ……………………12



この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行 者行動規範」に則って令和7年度中学校教科書の内 容解説資料として、配布を許可された資料です。



著者からのメッセージ

私たちは、令和7年度用教科書が、「中学生を励ますことができる」「生活の中の課題に対して、中学生が自分や自分達のこととして考えることができる」ようになることをめざして、教科書全体を通して次のことを重視して編集の工夫をしました。

自立し ともに支え合う生活へ

生活の身近な「疑問がわかる」

抽象的な概念を具体と結びつけた学習展開で「なぜ?」がわかり、視野がひろがる。

科学的な根拠が「視覚的にわかる」

目に見える化することによって、理解ができる。

SDGs「誰ひとり取り残さない」

各内容が、全ての人の尊重で貫かれ、中学生一人ひとりが、自己肯定できることにつながる。

自立する喜びと誇り、他者理解と共生

生徒が自分のこととして読める中学生目線の教科書、中学生に寄り添い励ます教科書をめざしました。

科学的に学ぶこと、自分の生活と結びつけて考えること、 自分達の現実の生活と外の世界とをつないでとらえること、 自立と共生は別々のものではなく、組み合わさり成り立って いることを大事にしました。

また、できるだけ知識の伝達や価値の押しつけにならないよう、多様な家族や暮らしを紹介したり、様々な立場の方に

語ってもらったり、課題 から話し合えるようにし たりしました。たとえば、

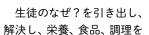


代表 金沢大学 教授 たなりま とも こ **綿引 伴子**

いろいろな家族のイラストや絵本で表したり、里親、里子、ヤングケアラー、LGBTQなどの当事者が語ったりしています。

多様な価値観やとらえ方にふれることで、思考力や他者と 共生する寛容さを育み、自分の価値観を耕すことができると 思います。

「なぜ?」を引き出す





副代表 千葉大学 名誉教授 近 5 かっ え 石井 克枝

結びつけ、生徒がおとなになっても役立つ教科書です。食品の名前を示した頁や体の中での栄養成分の変化を図で示しました。簡単な実験で食品の栄養成分を実感できるように工夫しています。調理ではQ&Aで科学的にみる目を育てます。

幼児の成長を視覚化

幼児とかかわる経験があ まりない中学生でも、発達を



副代表 東京学芸大学 教授 **倉持 清美**

ベースにして子どもについての理解を深め、事例などを通して、かかわり方を考えられるようにしています。一緒に楽しくできる遊びも紹介しています。子どもの生活が想像できるように、写真やイラストも豊富に使用しています。

興味・関心を



山形大学 名誉教授 たかぎ なま **高木 直**

図表や写真が大きく生徒の興味・関心を引きつけます。衣服素材や洗濯、洗剤などの科学的な事柄はわかりやすく説明しています。

また、製作例が多くどの製作例も基礎的な縫製技術が身につくように考えられていますので、学校や生徒の実情に合わせて選ぶことができます。

いのちを守る工夫



元・聖心女子大学 教授 **鶴田 敦子**

「漫画」を取り入れたり、生徒会でのエコ活動や、特徴的な住まいの工夫を写真付きで示したりしています。 住まいは工夫しながら自然から命を守ってきたことが自ずとわかる流れになっています。

防災頁は具体例を多々取り上げ、10 頁を使って内容を充実させています。

事例を豊富に



東京学芸大学 名誉教授 ままたけ **美登利**

今や、購入や支払いは電子マネーに よるやり取りが拡大し、現金でなく数 値による管理が増えています。また、 環境問題は地球規模でとらえることが 求められています。

こうした抽象的になりがちな内容を、 豊富な事例やイラストで具体的な問題と 結びつけて考えられるようにしています。

こちらから特設サイトで詳細を 見ることができます!



課題をもって、自立し ともに支え合う生活を めざすための教科書構成

新教科書は、「主体的・対話的・深い学び」で、家庭分野の学習が身につく構成です。調べたり、考えたり、話し合っ たりしながら、生活の自立とともに支え合う生活をめざして学習したことを生活の場に生かせるように工夫しています。

とびら

課題 / 基礎的・基本的内容 参考資料

学習のまとめ

生活の 課題と実践

何を 学ぶかが 伝わる

節タイトル

具体的な学習項目が明 示されている。

学習の 見通しを もつ

学習の目標

具体的な学習項目が明 示されている。

学習を 始める きっかけ

導入課題

身近な問いから学習を 始められる。

基礎的• 基本的な 内容を 理解する

本文

課題を解決するための 学習内容や資料が記載 されている。

課題解決に 向かう力を 培う

様々な課題

話し合ったり、考えた り、調べたりしながら 課題解決に向けて取り 組める。

5. 幼児が安心できるかかわり

ドキドキワクワク ふれ合い体験

幼児とふれ合い体験をするとしたら 幼児とかかわるときにどのようなことに気をつけますか。 どのようなことを工夫しますか。

思ってもらいたい

わることができる。

-緒に遊んで けがをしたら どうしよう

●幼児についてこれまで学んで 身につけた基礎的・基本的な 知識を活用して、幼児とかか

図1 可食部と廃棄部

可食部とは、食品の食べられる部分のこと。また、 食品全体に対する廃棄部の割合を廃棄率といいます。



栄養素は食品に含まれる

食品に含まれる栄養素は一つだけだと思っていませんか。食品 に含まれている栄養素は複数あります。食品に含まれる栄養素を 確かめてみましょう (図2)。**食品成分表**には、可食部100g中に 含まれるエネルギーや水分、栄養素の種類や量が示されています (⇒p.178~181)。1回に食べる量は100gとは限らず、食品に よって異なるので、食品成分表に示された数字がそのまま体内に 入るわけではありません。

考えてみよう

やってみよう

話し合ってみよう

調べてみよう

インターネットで安い自転車が売られていた。こんなに 安くてだいじょうぶなのかな。まずは、自分で調べてみよう。

- 口コミにはよいことが書いてあった。信じられるかな。
- ・乗りやすさを確認するならやっぱり店舗かな。
- ・故障や事故のときの補償はあるのかな。 どこで生産されているのかな。
- ・環境への配慮はされているかな。

下の文章と絵は、絵本「ちいさいおうち」の一部です。作者は何を伝えたかったのでしょうか。 また、それについてあなたの考えを書きましょう。(主体的に学習に取り組む態度









評価に つなげる

学習のまとめ

知識・技能、思考力・ 判断力・表現力、主体 的に学びに向かう態度 の評価につなげること ができる。

学習のまとめの構成

- ①知識・技能が確認できる
- ②思考力・判断力・表現力をみとることができる
- ③主体的に学習に取り組む態度をみとることができる
- ④もっと知りたい、深く考えてみたいなど、「生活の課題と実践」 に進める課題

ガイダンス/生活の課題と実践

(教科書 p.2~15)

(教科書 p.12・13、p.292~303)

- ■教科書の冒頭では、これから始まる家庭分野 の学習がめざすこと、家庭分野が貫く考え方、 学習することによって身につけたいことなど を、「ガイダンス」(教科書 p.2 ~ 15) で具体 例を示しながら提案しています。
 - ●家庭分野をどのように学ぶ?
 - ●家庭分野で身につける力は?
 - ●家庭分野の「生活の見方・考え方」は?



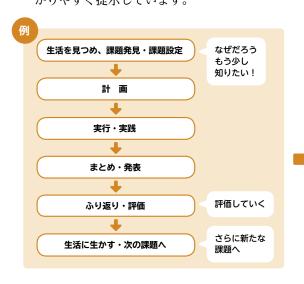
家庭分野がめざす「持続可能な社会の構築」とは?



●「自立と共生」で成り立っている生活とは?

■生活の課題と実践に、どのように取り組むとよいでしょうか。取り組み方の具体例と、実践例を示して、「自分で課題を決めて評価できる自分になる」ことをめざせるヒントをわかりやすく提示しています。







A 家族・家庭・地域/幼児の生活

知識の伝達や価値の押しつけにならないよう、事例を豊富に取り上げて、多様な視点から考えを深められる工夫をしています。

■多様な視点から学びを深める

● 多様な立場の人の声を聞く

多様な立場の方の活動についての記事やメッセージ等 を掲載しています。



●様々な家族の暮らし方から、家族の変化の可能性を知る

様々な暮らし方や人とのかかわりを**イラストや写真**で **視覚的**に表現しています。



(教科書 p.26・27)

(教科書 p.16・17)

家族や家庭生活の働きを 理解する

家族・家庭の機能を支える 仕事や家庭の外で代行できる 仕事を**図式化**しています。



(教科書 p.22・23)

● 活動例で知る中学生や地域の取り組み

目の不自由な人との交流や自分とは異なる年齢の人とのかかわりについて事例を通して学ぶことができます。



自の不自由な人との交流(静岡県富士宮市) (教科書 p.80)



高齢者世帯などのごみ出し支援事業(新潟県)
(教科書 p.77)

■リアルな情報で幼児を理解する

● 視覚的に引きつけ、生徒の興味や関心を広げる

原寸大の幼児の手形・足形や実際の幼稚園を基に作成 したイラストなどによって生徒の気づきや疑問を引き出 します。



(教科書 p.66·67)

● 保育士の方からのアドバイス

実際に幼児とかかわっている保育士の方から、**幼児と ふれ合うときのアドバイス**をいただき、掲載しています。



(教科書 p.66·67)

● ふれ合い体験をイメージ しやすく、活動の具体例 が豊富

中学生が幼児とのふれ合い体験を行っている姿を視覚的に掲載し、**イメージし**やすくしています。



(教科書 p.62)

●幼児期とつながっている今の自分

中学生自身が自分の成長をふり返りながら学習できる ような工夫をしています。



(教科書 p.40・41)

B食生活

食生活への興味・関心を引き出し、生徒自らが食生活の課題を自分ごととして捉え、考えることができるよう、クイズ 形式や栄養素の視覚化、科学的根拠の明確化などの工夫をしています。

■「クイズ」で食品を身近に

生徒の実生活では、生鮮食品に触れなかったり、加工 食品でもその原材料まで知らなかったりすることも多い状

況があります。そこでクイズ形式で食品の基礎的知識を定着させることをねらいとしたページを新設しています。



(教科書 p.96・97)

■栄養素や食品の学習を視覚化

●栄養素を簡単な実験で

食品に含まれる目に見えない**栄養素の可視化**により、 生徒が見て確かめることができます。

実験の実施が難し い場合でも、QRコ ンテンツの動画に よって理解できま す。



(教科書 p.100・101)

栄養素をキャラクターで

目に見えない栄養素の学習は、**キャラクター化**により イメージしやすくすることで理解しやすくしています。

栄養素のはたらきに ついても、イメージ 化によって生徒の理 解度が高まることが 期待できます。



(教科書 p.102・103)

体に入った栄養素のゆくえを理解する

理科との関連も想定し、体に入った栄養素のゆくえについて、**概略したイラスト**によって簡単に理解しやすくなるよう工夫して

なるよりエク います。



(教科書 p.104・105)

● 実物大写真で食品の概量を理解しやすく

食品の概量を理解するために、中学生に必要な1日分の食品例を**実物大写真で6群別**に示しています。6つの食品群別摂取量のめやすが一目でわかります。



■安全を重視した食物アレルギーへの対応

調理実習において、食物アレルギーへの理解の共有は 必要不可欠です。調理実習の材料の中でアレルギー物質

を含む食品について、生徒一人ひとりが理解し、意識して 学習に臨めるよう**黄** 色マーカーで目立つように示しています。



(教科書 p.128)

■科学的根拠が理解できる調理実習例

調理実習は、その手順の背景に様々な科学的根拠があります。「**なぜそうするのか**」という疑問が解消できる

ようにしています。 理科との関連も含め て生徒の興味・関心 を喚起し、新たな疑 問が出てくることも 期待できます。



(教科書 p.128~149)

■地域の食文化~様々な地域を例に~

自分の住む地域や他の地域の郷土料理の例を写真で見て、興味・関心を高め、調べてみることで**食文化の魅力**

に気づき、生活の課題と実践につなげることもできるように、すべての都道府県の郷土料理を掲載しています。



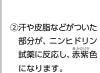
(教科書 p.160・161)

B 衣生活

衣生活の学習内容を大きく「1. 衣服のはたらきと手入れ」「2. 衣服の選択と着方」「3. 布を用いた作品で生活を演出」「4. 持続可能な衣生活」の四つで構成しています。1・2では特に、基礎的・基本的知識をていねいに、科学的根拠に基づいて記述することを重視しています。3では、つくってみたいと思える製作例を豊富に取り上げ、選択肢が広がるようにしています。

■生活を科学する目を大切に

日常生活の中で衣服にはいろいろな汚れがつきますが、汗や皮脂などの汚れは目に見えないものです。それを**可視化できる実験**を取り上げ、理解できるようにしています。





(教科書 p.190)

■衣生活文化への関心を高める

日本では、人生の節目に行う儀式や、地域の行事など、様々な場面で和服が着用されてきています。和服の文化に関心をもって、和服の着方を知ることができるように、中学生が身近に感じるゆかたを例に、ていねいな**イラストで着方**を掲載しています。

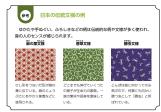
● 和服の文化にふれてみよう―ゆかたの着方



(教科書 p.208)

日本の伝統文様の例

日本の伝統的な柄や文様は、ゆかたや手ぬぐいなどによく使われています。それらの文様の意味を知ると、昔から伝わってきた**衣生活の文化への関心**も深まります。



(教科書 p.218)

● 洗剤のかわりに使われていた食物 (教科書 p.192)

現在の洗濯には、ほとんどの場合、洗剤を使っていますが、洗剤がなかったころに、洗剤のかわりに使っていた植物の例を、**写真とともに掲載**して、その理由も記述しています。

■基礎・基本をていねいに



(教科書 p.212)

■豊富な製作例で実習の選択肢が広がる

小学校で身につけた技能と、中学校で身につける「まつり 縫い」などの技能を使って製 作する例を豊富に掲載してい ます。中学校や中学生の実情 に応じたり、中学生の興味・ 関心に合わせて選択肢が広 がったります。

日常生活に生かせる製作実習例を 中心に取り上げています。

- ・ファイルカバー
- ・タブレット端末ケース
- ・非常持ち出し袋
- ・ハーフパンツ
- ・マスク&三角巾 ・ごっこ遊び道具(エプロン、
- リストバンド、変身ベルト)
- ・リバーシブルバッグ・ 道具入れ

(教科書 p.218~225)

学校生活で活動できる製作例

ファイルカバー

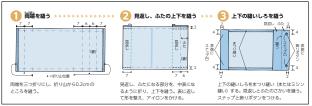
タブレット端末ケース



(教科書 p.218・219)

■製作工程がわかりやすい

手順の図を見ながら製作が進められるように、手順は 工程を複雑にしないで、わかりやすく示しています。



(教科書 p.213)

B住生活

住生活の学習では、マンガやイラストを効果的に用いることで、より理解しやすくなります。また生活といのちを守る 「防災」もさらに充実した内容になっています。

■生活に必要な住空間

生活に必要な住空間の学習では、興味・ 関心をもって学べるよう、学習の導入に 江戸時代の住まいの様子がわかるマンガ を掲載しています。現代の住まいとの比 較をすることで、その変化も学べます。



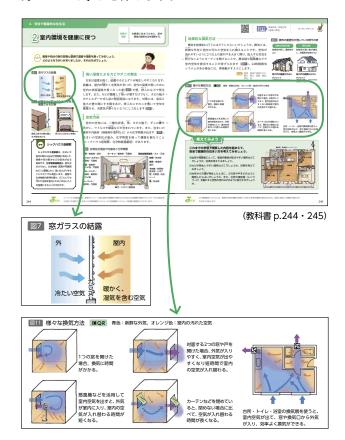
(教科書 p.236)

■健康で安全に住まう

健康で安全な住空間の整え方と家庭内事故について、 **イラストや図**でわかりやすく示しています。

●「結露」や「換気」を科学的にわかりやすく

「結露」のしくみや「換気」についてイメージしにくい**空気を可視化**した図で示しました。「結露」や「換気」を科学的に理解することで、健康で安全な住空間の整え方について学びを深めます。



●「家庭内事故」をイラストで示し、対策を考えや すく

毎年起きてしまっている家庭内事故をどうやって防ぐか。これまでも学習内容としてあった「家庭内事故」について、グラフだけでなく**親しみやすいイラスト**を用いることで、幼児や高齢者の身体的特徴を理解しながら、対策を考えて学習できます。

■日本の気候風土に合わせた住まい方

住まいは自然環境と深く関連していることを示すため に、気候の特徴を記した**日本地図と関連**させながら、わ

かりやすく掲載しています。また、日本の伝統的な住まいについても写真や図で詳しくていねいに解説しています。



(教科書 p.240・241)



■災害から「生活といのち」を守る

住生活では「生活といのち」を守る「防災・減災」に ついて学びます。災害への備えや被災後の生活など計

10ページに渡って 「防災」を掲載し、 充実させています。



(教科書 p.250・251)

0次の備え





2次の備え





消費する

C 消費生活・環境

消費生活・環境の学習内容は、衣食住の生活と比べると、社会の変化が如実に影響してきます。消費行動から考えて みると、商品の購入や支払い方法は多様化し、変化も速く反映されます。環境面から考えてみると、気候変動によって、 気候危機の時代とも言われて、課題が山積です。中学生にとって、抽象的になりがちな学習内容を、教科書では、具体的 な事例を豊富に取り上げながら、学習が進められるように工夫しています。

■学びを開く「とびら」の工夫

「エネルギー」「環境問題」「消費生活」など、「消費生 活・環境」の**学びを開くヒント**がつまった「とびら」を 工夫しています。



(教科書 p.262・263)

■「消費生活のしくみ」は視覚的に

目に見えにくく、抽象的になりがちな消費生活につい て、**そのしくみを図式化**することで、様々な事象との関 係性が理解できるようにしています。学習を進める中で の基礎的知識として活用できるとともに、実生活でのし くみが理解できます。



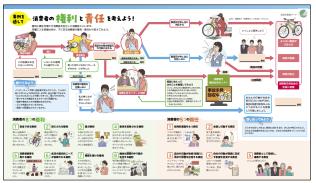
■SDGsの目標の実現に近づくために

..........

教科書全体を貫く「SDGs 誰ひとり取り残さない」を、 各内容で繋げるように、教科書の最終章でまとめています。

■事例を通して、「消費者の権利と責任」を 理解する

消費者の権利や責任について、知識にとどめるのでは なく、中学生の身近に存在する「自転車」を例にしなが ら、**具体的な問題と結びつけて**考え、生活に生かせるよ うにしています。



(教科書 p.276・277)

■自分ごととして考えることができる課題 と事例

中学生が生活の中で体験したり、興味・関心をもったり する「オンラインゲーム」の課金や、「キャッシュレス」で の決済について、自分ごととして考えられるように、具 体例で示しています。キャッシュレス決済による光と影 の部分にも思いがいたるような課題を取り上げています。







































現代的な課題に向き合う

私たちは現在、多くの課題に直面しています。地球規模で言えば、気候変動や貧困、紛争、感染症、エネルギー問題、 海洋汚染など、どれも生活に直結しており、急ぎ対応を迫られることばかりです。

国内に目を向けると、急速な少子高齢化やごみ問題などもあります。これらの課題に目を向け、中学生の視点で考えら れるように、具体的な活動例などを随所に掲載して、中学生が自分の生活から地域・社会・世界へと視野を広げていくこ とができるようにしています。

■中学生の取り組みでは…

高齢者世帯のごみ出しを支える



高齢化とごみ問題の 課題につながります。

(教科書 p.77)

■地域の取り組みでは…

リユース・リサイクル・レンタルで3R



環境問題に (教科書 p.228) つながります。

■先輩からのエールでは…

プラスチック汚染について語る海洋学者



■各内容(A家族・家庭生活 B食生活・衣生活・住生活 C消費生活・環境)の最終章は、 「持続可能な〇〇〇」を設定

SDGs の 17 の目標とも関連させながら、それぞれの内容につながる現代的課題を取り上げ、 未来を見すえて考え、行動することの必要性を投げかけています。

A 家族・家庭生活では

7 持続可能な家庭生活

誰もが尊重される家庭・ 地域の生活

- ・地域の生活
- 誰ひとり取り残さないとは?
- 暮らしの中のジェンダー
- ・男女共同参画社会をめざして
- 地域で子育て

B 食生活では

持続可能な食生活をめざして 環境に配慮した衣生活

食べものが捨てられている

6 持続可能な食生活

- ・世界の食料生産と飢餓
- ・日本の食料は国内でどれくら い生産されている?
- ・温暖化と食生活~日本人の食 とカーボンフットプリント

B 衣生活では

4 持続可能な衣生活

- ・いつまで続く?大量生産・大 量廃棄の衣生活
- ・衣料品はどこでつくられるの だろうか?
- ・着用のしかたと省エネルギー
- 洗濯のしかたと省エネルギー

5 持続可能な住生活

B 住生活では

将来を見すえた住生活

- ・気候変動が住生活に与え る影響
- ・自然を生かして環境と共
- ・誰もが住みやすい環境を

C 消費生活・環境では

- 4 持続可能な社会に向けて
- 1. 消費生活が環境に与える影響 消費生活とエネルギー
- 脱炭素社会を目指す世界的な取り組み
- ・日本の二酸化炭素排出量
- 2. 地球環境を守る私たちの暮らし方
- ・循環の中にある私たちの暮らし 水の汚染を防ぐ ごみを減らす
- 3. 持続可能な社会の実現をめざして
- ・10 年先 20 年先を見すえた SDGs への取り組みを

(教科書 p.82~84)

(教科書 p.172~174)

(教科書 p.226~228)

(教科書 p.256~258)

(教科書 p.284~288)

■防災に取り組む — いのちを守る工夫

2024年元日に「令和6年能登半島地震」が発生し、 膨大な被害と多くの犠牲者を出し、今なお、これまで の日常生活を取り戻せないで、不便な生活を強いられ ている人々がたくさんいます。

自分や家族・地域の人々のいのちを守るために、防

災について学べるよ うに「わたしたちの 防災」として、10ペー ジにわたって具体例 を取り上げています。

> 10ページの中にはこのほ かに、「平常時からの備え」 「災害発生時の対応」「災害 の種類によって異なる緊急 避難場所」「災害時の生活」 「災害時の生活の立て直し」 などを取り上げています。 (教科書 249~255 ページ)



(教科書 p.249)

■誰ひとり取り残さない - 経済的課題への対応

家庭の機能を果たし、安心して家庭生活をおくることが できるためには、経済的な安定が欠かせません。教科書では、 「生活に必要な費用」について、具体的・丁寧に記述してい ます(教科書24ページ)。それに加えて、⑩として、「家族・ 家庭を支える経済」(教科書25ページ)や、「家庭生活を支 える社会」(教科書36・37ページ)についても、中学生に 理解しやすい記述や図化で取り上げています。

社会保障の制度やしくみ を知っておくと、困った ときに手続きができます。

「家族・家庭を支える経済」では

・保育・幼児教育への公的支出国際比較 (グラフで)

・出生から中学生までの生活を支える公的

なお金を誕生から中学校までの各段階 ✓ 図で

「家庭生活を支える社会」では

- ・生活を支える制度の実際 〈説明文で
- ・生活上に生じるさまざまな困りごと 〈イラストで

困ったときはしっかり手続きしよう

・社会保障のの手続きを示して事例で考える ◆表とイラストで

小・中の系統性を図って

令和6年度用 小学校教科書 令和7年度用 中学校教科書 生活を見つめ、できることを増やしていこう 1 毎日の生活を見つめてみよう 1 今の自分とこれから 2 家庭のはたらきと家庭の仕事 2 クッキングはじめの一歩 3 様々な家族・家庭 3 ソーイングはじめの一歩 4 幼児の生活と家庭 4 整理・整とんで快適に 5 幼児が安心できるかかわり 5 できるよ家庭の仕事 6 かかわり合う地域と家庭 7 持続可能な家庭生活 6 ミシンで楽しくソーイング 7 食べて元気に 1 人間にとっての食事 8 生活を支える物やお金 2 食品と栄養素 9 着方の工夫で快適に 3 中学生に必要な食事 4 日常食の調理と地域の食文化 10暖かい住まい方で快適に 5 献立づくり 11 いっしょに「ホットタイム」 6 持続可能な食生活 1 生活時間をマネジメント 工夫して生活に生かそう 1 衣服のはたらきと手入れ В 衣生活 2 衣服の選択と着方 2 できることを増やしてクッキング 3 布を用いた作品で生活を演出 4 持続可能な衣生活 3 クリーン作戦で快適に 1 人間にとっての住まい В 4 衣服の手入れで快適に 2 生活に必要な住空間 3 自然とともにある住生活 5 すずしい住まい方で快適に 4 安全で健康的な住生活 6 ソーイングで生活を豊かに 5 持続可能な住生活 7 こんだてを工夫して 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 8 共に生きる地域での生活

生活の課題と実践

9 持続可能な社会のために

生活の課題と実践

3 消費者被害と消費者の自立

4 持続可能な社会に向けて

「A 家族・家庭生活」の例





インフォメーション

学びを広げる QR コンテンツ

教科書に掲載されている内容について、より一層学びを深める**資料コンテンツ**、目で 見ることで学びを深める**動画コンテンツ**、各内容のふり返りができる**活動コンテンツ**を 収録しています。幼児の成長の様子や調理・製作実習、ロールプレイング、キャリアイ ンタビュー、リンクページの動画資料など多様な内容を用意しています。

資料コンテンツ







動画コンテンツ











開隆堂出版



友だち募集中!

● ID 検索で登録

技術・家庭

ホーム→友だち追加→ ID 検索

● 二次元コードで登録

ホーム→友だち追加→二次元コード読み込み

先生のためのお役立ち情報を配信!

- ●教科書情報
- ●全国の実践事例
- ●セミナー情報
- ●公式 YouTube 動画
- ●指導計画&評価規準 ●情報誌 など
- LINE @004waevr





KGKジャーナル

Vol.59-2 家 (通巻 415号) 非売品

令和6年5月7日印刷 令和6年5月15日発行 編集兼発行人 岩塚 太郎 発行所 開隆堂出版株式会社 〒 113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1 **☎** (03)5684-6121 (営業)、5684-6118 (販売)、5684-6116 (編集) https://www.kairyudo.co.jp/



開隆堂出版株式会社